

府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画策定のための調査 (一般市民調査)

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成27年3月に策定を予定しております「府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画」の基礎資料とするために、調査を実施します。

この調査は、府中市にお住まいの18歳以上の方2,200名を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成25年10月 府中市

記入についてのお願い

1. **封筒のあて名ご本人**について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。
なお、あて名ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりに記入してください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
の場合は回答内容等を記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[]内に具体的な答えを記入してください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月11日（月）までにご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部地域福祉推進課

TEL 042-335-4182

おしらせ

この調査の結果については、平成 26 年 4 月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所地域福祉推進課窓口等に設置いたします。

ぜひ、ご覧ください。

府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画策定までのスケジュール

府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画は、この調査結果等を基礎資料とし、市民、学識経験者、団体等から構成された「府中市福祉のまちづくり推進審議会」で検討を進めながら策定します。

平成 26 年 3 月	この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。
平成 26 年 4 月頃	調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。
平成 26 年秋頃	計画についてパブリックコメントを実施します。 ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。
平成 27 年 3 月	府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画を策定します。

なお、現計画（地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画）は、前回の皆さまにご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所地域福祉推進課窓口や中央図書館等にてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ (<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>) でもご覧いただけます。

◆府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画

府中市ホームページトップページ ⇒ 市政を身近に ⇒ 計画 ⇒ 府中市福祉計画
⇒ 第 2 編 地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画

はじめに、あなたご自身のことをおたずねします

F 1 あなたの性別は次のうちどれですか。(1つに〇)

(N=1,097)

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| 1. 男性 42.8% | 2. 女性 56.5% | 無回答 0.7% |
|-------------|-------------|----------|

F 2 あなたの年齢は次のうちどれですか。(1つに〇)

*平成25年9月1日現在の年齢でお答えください。

(N=1,097)

- | | | | |
|----------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 18~19歳 1.6% | 5. 35~39歳 7.0% | 9. 55~59歳 7.3% | 13. 75~79歳 7.5% |
| 2. 20~24歳 5.2% | 6. 40~44歳 8.6% | 10. 60~64歳 9.8% | 14. 80~84歳 5.7% |
| 3. 25~29歳 4.8% | 7. 45~49歳 8.6% | 11. 65~69歳 8.0% | 15. 85~89歳 1.7% |
| 4. 30~34歳 6.8% | 8. 50~54歳 8.3% | 12. 70~74歳 8.4% | 16. 90歳以上 0.5% |
| | | | 無回答 0.1% |
-
- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| 1. 18~19歳 1.6% | 5. 40~49歳 17.1% | 7. 65~69歳 8.0% |
| 2. 20~29歳 10.0% | 6. 50~59歳 15.6% | 8. 70~74歳 8.4% |
| 3. 30~39歳 13.9% | 4. 60~64歳 9.8% | 9. 75歳以上 15.5% |
| | | 無回答 0.1% |

F 3 あなたのご職業は次のうちどれですか。(1つに〇)

(N=1,097)

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 自営業・自由業 7.6% | 5. 専業主婦(夫) 19.8% |
| 2. 企業の正社員・役員 24.0% | 6. 学生 4.0% |
| 3. 公務員 4.3% | 7. 無職 20.1% |
| 4. 契約社員・派遣・パート・アルバイト等 17.9% | 8. その他〔具体的に：〕 2.1% |
| | 無回答 0.4% |

F 4 世帯についておたずねします。

あなたと同居*している方はどなたですか。(いくつでも〇)

*2世帯住宅は同居としてお答えください。

*配偶者の親族を含めてお答えください。

(N=1,097)

- | | | | | |
|-----------------------|---------------|---------------|---|---------------|
| 1. ひとり暮らし(自分のみ) 13.5% | → F5へ | 5. 祖父、祖母 1.5% | } | → F4-1
へ進む |
| 2. 配偶者(夫または妻) 61.1% | } | 6. 兄弟・姉妹 7.7% | | |
| 3. 息子、娘 43.3% | | 7. その他 | | |
| (息子の妻、娘の夫も含む) | → F4-1
へ進む | 〔具体的に：〕 2.4% | | |
| 4. 父、母 16.7% | | 無回答 1.4% | | |

F 4-1 F 4で「2. 配偶者(夫または妻)」～「7. その他」と答えた方におたず

ねします。世帯の人数はあなたを含めて何人ですか。(1つに〇)

(n=934)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 2人 33.1% | 4. 5人 7.5% |
| 2. 3人 27.6% | 5. 6人以上 4.3% |
| 3. 4人 22.7% | 無回答 4.8% |

F 5 現在、あなた自身、もしくは同居や市内にお住まいの家族の中に、次のような方はいますか。(いくつでも○)
(N=1,097)

1. 乳児(1歳未満)	3.6%	5. 65歳以上の方	30.7%
2. 乳児を除く小学校入学前の幼児	12.3%	6. 身体・知的・精神等の障害のある方	5.9%
3. 小学生	12.3%	7. 介護・介助を必要とする方	6.7%
4. 中学生・高校生	12.7%	8. いずれもない	37.7%
		無回答	5.2%

F 6 あなたはどちらにお住まいですか。 内に記入してください。
(N=1,097)

町 丁目

			N=1,097
第一地区	19.8%	第四地区	13.0%
第二地区	19.2%	第五地区	12.7%
第三地区	16.7%	第六地区	17.4%
		無回答	1.2%

第一地区：多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台（1～3丁目）、若松町、浅間町、緑町
 第二地区：白糸台（4～6丁目）、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政
 第三地区：天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町
 第四地区：宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、片町、宮西町
 第五地区：日綱町、武蔵台、北山町、西原町、美好町（1～2丁目）、本宿町（3～4丁目）、西府町（3～4丁目）、東芝町
 第六地区：美好町（3丁目）、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町（1～2丁目）、西府町（1～2、5丁目）

F 7 あなたは府中市にお住まいになってから何年になりますか。(1つに○)
(N=1,097)

1. 1年未満	3.3%	5. 10年以上20年未満	21.5%
2. 1年以上3年未満	6.7%	6. 20年以上30年未満	16.1%
3. 3年以上5年未満	4.8%	7. 30年以上	38.8%
4. 5年以上10年未満	8.2%	無回答	0.5%

F 8 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)
(N=1,097)

1. 持ち家の一戸建て	45.6%	3. 賃貸の一戸建て	2.6%	5. 公的賃貸住宅	5.6%
2. 持ち家の集合住宅	24.0%	4. 賃貸の集合住宅	19.1%	6. その他〔具体的に：〕	2.4%
				無回答	0.7%

日ごろの地域活動*やボランティア活動*についておたずねします

問1 あなたは、隣近所の人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに〇)
(N=1,097)

- | | | |
|--------------------------|-------|--------------|
| 1. 個人的なことを相談し合える人がいる | 11.6% | } →問2
へ進む |
| 2. さしさわりのないことなら、話せる人がいる | 33.8% | |
| 3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる | 36.4% | |
| 4. ほとんど近所づきあいをしない | 17.0% | →問 1-1 へ進む |
| 無回答 | 1.3% | |

問 1-1 問1で「4. ほとんど近所づきあいをしない」と答えた方におたずねします。主な理由はどれですか。(3つまで〇)
(n=186)

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 普段つきあう機会がないから | 82.3% |
| 2. 仕事や家事・育児等で忙しく時間がないから | 21.0% |
| 3. 同世代の人が近くにいないから | 7.0% |
| 4. 引っ越してきて間もないから | 11.3% |
| 5. 気の合う人・話の合う人が近くにいないから | 7.5% |
| 6. あまりかかわりを持ちたくないから | 18.8% |
| 7. その他〔具体的に： | 〕9.1% |
| 無回答 | 0.0% |

問2 あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。(1つに〇)
(N=1,097)

- | | | | | | |
|-------------|-------|----------------|----------------|-------|----------------|
| 1. よく参加している | 6.6% | } →問2-1
へ進む | 3. あまり参加していない | 25.6% | } →問2-2
へ進む |
| 2. 時々参加している | 20.6% | | 4. まったく参加していない | 46.1% | |
| | | | 無回答 | 1.1% | |

地域活動

地域の社会的諸問題の解決や福祉向上のために、住民が主体となって地域を拠点として行われる活動。

ボランティア活動

自発的に、他者や社会のために行い、金銭的な利益を第一に求めない活動。また、誰もが暮らしやすい豊かな社会をめざして、人や団体とつながり、社会の課題の解決に取り組む活動。「自発性・主体性」「社会性・連帯性」「無給性・無償性」「創造性・先駆性・開拓性」がボランティアの4原則といわれる。

問2-1 問2で「1. よく参加している」または「2. 時々参加している」と答えた方におたずねします。

どのような活動や行事に参加していますか。(いくつでも○)

(n=298)

1. 町内会・自治会等の活動	57.7%	5. 地域でのボランティア活動	15.1%
2. 子ども会やPTAの活動	11.1%	6. 防災訓練や交通安全運動	18.1%
3. 老人クラブの活動	11.7%	7. お祭りや運動会等のレクリエーション活動	39.9%
4. 婦人会の活動	3.0%	8. その他〔具体的に： 〕	12.1%
		無回答	0.0%

問2-2 問2で「3. あまり参加していない」または「4. まったく参加していない」と答えた方におたずねします。

あなたは、今後、活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

(n=787)

1. 参加したい	14.7%	} → 問2-3へ進む
2. 参加したいができない	38.1%	
3. 参加したくない	45.5%	→ 問2-4へ進む
無回答	1.7%	

問2-3 問2-2で「1. 参加したい」「2. 参加したいができない」と答えた方におたずねします。どのような環境や条件を整えば活動に参加できますか。(3つまで○)

(n=416)

1. 身近なところや便利なところに活動の場があること	46.2%
2. 夜間や休日または平日昼間等、自分にあった時間帯に参加できること	51.2%
3. 子どもの世話や介護・介助を代わってもらえること	7.5%
4. 友人や家族と一緒に参加できること	18.0%
5. 家族や職場の理解・協力が得られること	11.3%
6. 自分の所属する学校や職場で活動が行われていること	5.8%
7. 身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること	25.2%
8. 活動資金の補助・援助があること	5.0%
9. 活動に参加することでメリットが得られること(報酬等)	6.3%
10. その他〔具体的に： 〕	13.0%
無回答	3.4%

問2-4 問2-2で「3. 参加したくない」と答えた方におたずねします。

活動に参加したくない理由は何ですか。(いくつでも○)

(n=358)

1. 時間的余裕がないから	51.7%
2. 経済的余裕がないから	13.1%
3. 健康に不安があるから	17.6%
4. 参加したい活動がないから	20.1%
5. きっかけがないから	30.4%
6. 活動に関する情報がないから	14.0%
7. 人間関係がわずらわしいから	26.0%
8. 活動に参加することでメリット(報酬等)が得られないから	7.8%
9. 興味、関心がないから	30.2%
10. その他〔具体的に：	〕 6.7%
無回答	0.0%

問3 あなたは、地域で安心して生活していくために、住民相互の協力関係が必要だと思いませんか。(1つに○)

(N=1,097)

1. 必要だと思う	36.1%	} →問3-1 ^進む	3. あまり必要だとは思わない	5.7%	} →問4 ^進む
2. ある程度必要だと思う	52.0%		4. 必要だとは思わない	0.5%	
		5. わからない	3.8%		
		無回答		1.8%	

問3-1 問3で「1. 必要だと思う」または「2. ある程度必要だと思う」と答えた方におたずねします。住民の協力関係を築くためにはどのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

(n=966)

1. 自ら進んで日ごろから住民相互のつながりをもつように心がけること	43.2%
2. 町内会・自治会が中心となって交流活動を進めること	36.7%
3. ボランティア団体やNPO(民間非営利組織)の活動を活発にすること	9.0%
4. 地域の人が気軽に集まる場所や地域活動の拠点となる場を作ること	42.0%
5. 地域の企業や団体等に地域活動への参加を呼びかけること	8.3%
6. 地域活動に関する具体的な情報を広く紹介すること	36.5%
7. 地域活動を担う、リーダーとなる人材を育成すること	12.7%
8. 行政や社会福祉協議会が地域活動への支援やコーディネートをすること	13.0%
9. その他〔具体的に：	〕2.4%
10. わからない	6.6%
無回答	1.3%

日ごろのお悩みと相談についておたずねします

問4 あなた、あるいはご家族は現在、日常生活においてどのような悩みや不安を感じていますか。(3つまで○)

(N=1,097)

1. 自分や家族の健康のこと 47.3%	8. 住宅のこと 13.7%
2. 自分や家族の老後のこと 42.1%	9. 地域の治安のこと 7.7%
3. 生きがいに関すること 7.9%	10. 災害時の備えに関すること 23.6%
4. 子育てに関すること 11.5%	11. 差別や偏見、人権侵害に関すること 1.3%
5. 介護の問題 20.0%	12. その他
6. 経済的な問題 27.2%	〔具体的に： 〕 2.1%
7. 隣近所との関係 3.6%	13. 特にない 10.5%
	無回答 2.4%

問5 あなたやご家族が、介助・介護等福祉に関することや病気で困ったときに、地域で相談したり頼ったりできるところはありますか。(いくつでも○)

(N=1,097)

1. 近隣住民・町内会・自治会の人 7.8%	7. 保育所、幼稚園、学校の先生や保護者 5.0%
2. 近所（市内在住）の親族 19.8%	8. ケアマネジャーや福祉施設の関係者 12.8%
3. 近所（市内在住）の友人 18.1%	9. かかりつけ医や保健師等医療関係者 28.4%
4. 民生委員・児童委員 3.7%	10. その他
5. 行政の相談窓口* 27.7%	〔具体的に： 〕 3.7%
6. 社会福祉協議会 4.4%	11. 相談できる相手がいない 20.3%
	無回答 3.4%

* 行政の相談窓口は、市役所、保健センター、女性センター、児童相談所、保健所等の窓口を示します。

問6 市や都等には、福祉についての相談窓口が設置されています。次の相談事業についてご存知ですか。(いくつでも○)

(N=1,097)

1. 市役所の相談窓口 69.0%	10. 都の保健所 18.2%
2. 民生委員・児童委員 30.9%	11. 地域生活支援センター「み～な」「あけほの」「プラザ」 7.7%
3. オンブズパーソン制度 4.9%	12. 子ども家庭支援センター「たち」「しらとり」 18.4%
4. 地域包括支援センター 20.8%	13. スクエア21・女性センター 20.0%
5. 権利擁護センターふちゅう 3.4%	14. 社会福祉協議会（ふれあい福祉相談室等） 18.4%
6. 心身障害者福祉センター 15.5%	15. 府中ボランティアセンター、 府中 NPO・ボランティア活動センター 11.8%
7. 発達支援センター「あゆの子」 4.5%	
8. 児童相談所 16.3%	16. 消費生活相談室 14.1%
9. 保健センター 36.0%	17. 知っているものはない 13.7%
	無回答 2.6%

問7 保育や子育て支援、高齢者や障害のある方への福祉サービス、健康づくり、ボランティア活動等、市の福祉に関する情報についておたずねします。

(ア) 日ごろの情報の入手先はどこですか。(3つまで○)

(N=1,097)

1. 家族や親族	23.4%	8. 民生委員・児童委員、ケアマネージャー、保育士等	4.4%
2. 近隣の人、友人、知人	23.4%	9. NPO等の民間団体	0.5%
3. 町内の回覧板	25.3%	10. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等	27.0%
4. 広報ふちゅうや市のパンフレット	57.5%	11. インターネット(市のホームページ以外)	12.6%
5. 市のホームページ	14.4%	12. フェイスブック・ツイッター等のSNS	2.1%
6. 行政の相談窓口	4.1%	13. その他〔具体的に：	〕1.6%
7. 社会福祉協議会	2.5%	14. 情報を得たことはない	9.7%
		無回答	2.3%

(イ) 情報を入力する際、困っていることはありますか。(いくつでも○)

(N=1,097)

1. 情報量が少ない	17.7%	7. 情報入手の方法がわからない	16.5%
2. 情報量が多い	2.1%	8. 視覚障害者や弱視者のための情報提供が不十分	0.8%
3. ほしい情報が少ない	19.4%	9. 聴覚障害者のための情報提供が不十分	1.0%
4. 信用できる情報が少ない	4.0%	10. 外国人のための情報提供が不十分	1.1%
5. 情報の内容がわかりにくい	13.8%	11. その他〔具体的に：	〕2.8%
6. 情報入手の手段が少ない	14.6%	12. 困ったことはない	39.1%
		無回答	8.9%

バリアフリー*についておたずねします

問8 あなたは、府中市が実施しているバリアフリー*に関する事業を知っていますか。
 (1)～(10)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。
 (N=1,097)

	内容まで 知っている	聞いたこと がある	聞いたこと がない	わからない	無回答
(1) 誰でもトイレの設置	19.3%	30.0%	28.6%	18.0%	4.1%
(2) 赤ちゃん・ふらっと	2.3%	8.0%	47.9%	34.4%	7.4%
(3) 小中学校のバリアフリー化（エレベーター、誰でもトイレの設置）	4.1%	18.4%	43.3%	28.2%	6.0%
(4) 広報紙への音声コード印刷、録音テープ版広報の搬送	1.6%	9.7%	50.0%	32.5%	6.3%
(5) 図書館のハンディキャップサービス（DAISY（録音図書）、布絵本等）	3.5%	19.0%	41.5%	30.4%	5.7%
(6) ヘルプカード	1.1%	9.1%	48.7%	34.5%	6.6%
(7) 福祉まつり	17.5%	43.7%	21.6%	12.9%	4.3%
(8) 小中学生への福祉教育・ボランティア体験	9.0%	28.4%	33.5%	23.0%	6.2%
(9) 心のバリアフリーハンドブック	0.9%	8.6%	53.0%	31.9%	5.7%
(10) ユニバーサルデザインガイドライン	1.8%	9.6%	48.7%	34.2%	5.7%

バリアフリー 障害のある人が社会生活をしていくうえで妨げとなる障壁を除去するという意味で、建物や道路等の段差等、生活環境上の物理的障壁の除去のこと。
 「心のバリアフリー」といった表現で、より広く社会参加を困難にしている社会的・制度的・心理的な全ての障壁の除去という意味でも用いる。

問9 現在、府中市の建築物や公共交通機関、情報案内、公園や道路等について、障害のある人や妊婦、子ども連れ、高齢者等が利用しやすいように整備されていると思いますか。(1)～(11)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(N=1,097)

		整備されている	やや整備されている	あまり整備されていない	整備されていない	整備の必要を感じない	無回答
建築物	(1) 車いすの方や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げる)	7.6%	48.0%	28.9%	6.9%	1.1%	7.5%
	(2) 公共施設や病院等のスロープ、エレベーターやエスカレーター	20.7%	54.4%	13.9%	3.1%	0.9%	6.9%
	(3) 車いすの方、乳幼児を連れた方等誰もが使いやすいトイレ	15.0%	47.6%	23.2%	5.3%	0.9%	8.0%
道路・交通機関等	(4) 歩きやすいように、障害物(商品や看板、放置自転車、電柱等)が取り除かれた歩道や道路	4.7%	28.4%	40.7%	17.9%	1.1%	7.2%
	(5) 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	11.2%	45.5%	27.6%	6.7%	1.4%	7.6%
	(6) 車いすやベビーカーで乗降しやすいノンステップバスやリフト付バス	18.4%	44.1%	22.2%	5.4%	1.5%	8.4%
	(7) 障害者用の駐車場	16.5%	41.3%	25.5%	5.3%	1.8%	9.6%
情報案内等	(8) 大きな文字、絵、複数の言語を用いた誰もがわかりやすい案内標示	4.9%	29.8%	42.0%	10.9%	2.6%	9.8%
	(9) 手話のできる職員が配置されていたり、音声ガイドがある施設	2.1%	15.5%	45.6%	19.3%	3.5%	14.0%
	(10) 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストラン等	1.7%	10.7%	44.6%	26.2%	4.0%	12.9%
全体	(11) (1)～(10)や公園、道路等を含むまち全体のユニバーサルデザイン*	2.1%	23.9%	42.2%	16.9%	2.8%	12.1%

ユニバーサルデザイン

道路・住宅・製品等を設計製造する場合に、障害のある人用という区分けをなくし、誰でもが使えるものを作るという考え方

問10 あなたは、街や近所で、障害のある人や高齢者、妊婦、乳幼児を連れた方等に、次のようなお手伝いをしたことがありますか。(いくつでも○)

(N=1,097)

1. 乗り物で席を譲った	73.4%	} →問11 へ進む
2. 荷物を持った	18.0%	
3. 階段の上り下りや道路の横断、電車・バスの乗り降りに手を貸した	26.5%	
4. 車いすやベビーカーを押したり、持ち上げたりするのを手伝った	24.0%	
5. 道を教えた	46.2%	
6. 扉を開けた	50.6%	
7. 話しかけたり、声をかけたりした	24.3%	
8. 車で送り迎えをする等、外出の手助けをした	4.1%	
9. その他〔具体的に：	〕 1.7%	
10. 何もしたことがない	10.2%	→問 10-1 へ進む
無回答	1.5%	

問 10-1 問 10で「10. 何もしたことがない」と答えた方におたずねします。

何もしたことがない理由は何ですか。(いくつでも○)

(n=112)

1. 忙しく、急いでいたから	1.8%
2. 手伝いをすることに、気恥ずかしさを感じたから	8.0%
3. おせっかいのような気がしたから	10.7%
4. どのように手助けしてよいか、わからなかったから	18.8%
5. 専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから	4.5%
6. 困っているのを見かけたり、出会ったりしたことがなかったから	61.6%
7. その他〔具体的に：	〕15.2%
無回答	3.6%

問11 人にやさしいまちづくりをすすめるためには、高齢者や障害のある方々が利用しやすい建物等の整備をすすめるだけでなく、市民一人ひとりの理解と協力、いわゆる「心のバリアフリー」を実現していくことが課題となっています。そのためにどのようなことが必要だと思えますか。(3つまで○)

(N=1,097)

1. 広報紙、テレビ等を通じて、多くの人が多様な情報にふれる機会が増えること	47.2%
2. 地域の行事等により、市民が高齢者や障害のある人と直接交流する機会が増えること	31.5%
3. 高齢者や障害のある人等へのボランティア活動に多くの人に参加するようになること	23.9%
4. 学校で高齢者や障害のある人とともに学習すること等により、子どものころから自然に接する環境で過ごすこと	58.9%
5. 学校で、車いす体験をしたり、手話や介助方法等を覚える授業が活発に行われるようになること	40.9%
6. 職場で、車いす体験をしたり、手話や介助方法等を覚える研修が活発に行われるようになること	19.4%
7. その他〔具体的に：	〕3.9%
無回答	4.1%

災害時の支え合いについておたずねします

問12 あなたは、災害を考えた時、どのような不安や心配ごとがありますか。(いくつでも○)

(N=1,097)

1. 所在、安否の確認	67.8%	8. 生活物資、乳幼児・高齢者等向けの物資	43.4%
2. 自身や家族の歩行に不安があること	16.6%	9. 医療機関、診療、薬の入手	50.3%
3. 救助、避難誘導	23.9%	10. 精神的なストレス	36.0%
4. 避難経路、避難方法	28.9%	11. 家屋の強度や家具の転倒防止	25.3%
5. 避難所がはっきりわからないこと	25.6%	12. 住まいの老朽化	16.9%
6. 避難生活	54.1%	13. 特に不安や心配ごとはない	1.8%
7. 正確な情報の入手	55.0%	14. その他〔具体的に： 〕	2.5%
		無回答	1.2%

問13 あなたは、災害に備えて市民や企業等が行政と協働で取組むとよいと思うものはどのようなことですか。(いくつでも○)

(N=1,097)

1. 地域住民同士の声かけや安否確認	60.8%
2. 住民たちで行う防災組織の活動の充実	24.9%
3. 地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実	34.4%
4. 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成	48.9%
5. 地域住民を対象とした防災講習会・学習会の開催	23.3%
6. 小・中学校の防災教育・訓練の充実	33.4%
7. 地域内外の団体等との日ごろからの交流	14.8%
8. 商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等	46.3%
9. その他〔具体的に： 〕	1.6%
無回答	2.8%

問14 災害時、地域で手助けが必要な方に、あなたができることは、どのようなことですか。(いくつでも○)

(N=1,097)

1. 避難所での支援活動	57.7%	5. 水や食糧の提供	11.5%
2. 手助けの必要な方への声掛け	62.0%	6. 特にできることはない	12.0%
3. 子どものいる家族への手助け	34.2%	7. その他〔具体的に： 〕	2.1%
4. けが人の手当て	13.7%	無回答	2.8%

府中市の福祉についての満足度をおたずねします

問15 あなたにとって、理想とする地域像はどのようなものですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(3つまで〇)

(N=1,097)

1. 子どもがいいきと育つまち	59.1%
2. 高齢者が暮らしやすいまち	55.9%
3. 障害のある方が暮らしやすいまち	25.4%
4. 困ったときに隣近所で助け合えるまち	37.7%
5. 福祉施設が整備されているまち	34.6%
6. 市民の福祉活動が活発に行われているまち	15.8%
7. 人権が尊重されるまち	21.0%
8. その他〔具体的に：	〕2.4%
無回答	3.1%

問16 あなたが現在、お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。(1)～(10)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ〇をつけてください。

(N=1,097)

	満足	どちらでもない	満足していない	無回答
(1) 隣近所等とのつきあい	32.3%	55.7%	9.0%	3.0%
(2) 町内会・自治会の活動	21.2%	63.6%	11.0%	4.1%
(3) 地域の交流	13.0%	72.1%	10.5%	4.4%
(4) サークルやボランティアの活動	9.9%	72.9%	11.4%	5.7%
(5) 地域の防災対策	10.5%	68.5%	15.3%	5.7%
(6) 保健福祉サービス	13.8%	69.4%	10.9%	5.9%
(7) 相談できる体制	10.4%	66.1%	17.2%	6.3%
(8) 買い物等の便利さ	53.0%	27.2%	16.0%	3.9%
(9) 道路や交通機関等の使いやすさ	52.7%	29.1%	14.2%	4.0%
(10) 公的な手続きの便利さ	29.8%	51.6%	14.3%	4.3%

福祉に対する考え方についておたずねします

問17 あなたは、次のことを知っていますか。(1)～(6)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(N=1,097)

	内容まで 知っている	言葉を聞いた ことがある	知らない	無回答
(1) 発達障害・学習障害	39.3%	47.5%	9.6%	3.6%
(2) 高次脳機能障害	17.2%	37.2%	41.3%	4.3%
(3) 若年性認知症	45.7%	43.9%	6.6%	3.8%
(4) ワーキングプア（働く貧困層）	40.9%	39.5%	14.7%	4.9%
(5) 子どもの貧困	20.5%	44.8%	30.1%	4.6%
(6) 成年後見制度	32.0%	40.1%	23.3%	4.6%

問18 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。(1)～(7)について、あなたの考えに最も近いものに1つずつ○をつけてください。

(N=1,097)

	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	全く思わない	無回答
(1) 障害のある人とない人が、地域社会の中でともに生きるのが当然の姿である	52.6%	31.6%	9.9%	1.9%	0.7%	3.2%
(2) ホームレスの問題は、本人だけでなく、社会全体の問題だと感じる	24.2%	25.2%	33.1%	9.8%	4.1%	3.6%
(3) 生活保護受給者に対する偏見や差別があると感じる	14.0%	22.8%	37.6%	17.0%	4.6%	4.0%
(4) ひきこもりやニートは、本人だけでなく、社会全体の問題だと感じる	16.6%	26.3%	32.9%	15.9%	4.9%	3.5%
(5) 児童や高齢者の虐待を防ぐために、地域でのつながりが重要である	45.9%	36.4%	11.9%	1.8%	0.6%	3.3%
(6) DV*被害を防ぎ、被害者を支援するために、地域でのつながりが重要である	35.0%	36.3%	20.0%	4.0%	1.1%	3.6%
(7) ひとり親家庭の自立を支援するために、地域でのつながりが重要である	31.1%	43.0%	18.8%	2.7%	1.0%	3.4%

DV（ドメスティック・バイオレンス）

配偶者や恋人等親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力。身体的な暴力だけでなく、精神的、経済的、性的な暴力等あらゆる暴力が含まれる。

福祉施策についておたずねします

問19 あなたは、高齢期に向けて（定年退職等で仕事をやめたとき等）地域活動を行う場合、どのような支援を市に望みますか。（3つまで〇）

(N=1,097)

1. 子どもの安全や子育てに貢献できる活動への支援	44.5%
2. ヘルパー等高齢者の援助を行う活動への支援	38.6%
3. 地域住民と協働できる機会の提供	33.3%
4. 生涯学習活動への支援	34.5%
5. これまでの仕事上の経験をいかした新規事業の立ち上げへの支援	21.6%
6. その他〔具体的に：	〕2.1%
7. 特にない	12.1%
無回答	3.8%

問20 地域の福祉が充実するためには行政サービスだけでなく、住民の参加（参画）が必要だという考えがあります。あなたは住民参加（参画）の方法としてどのようなことが必要だと思いますか。（1つに〇）

(N=1,097)

1. 町内会・自治会や子ども会等地域単位の組織活動を活発にし、地域住民同士が横のつながりを保つこと	35.6%
2. 行政と住民の意見交換の機会を設けること	17.1%
3. より多くの住民がボランティア活動に参加すること	9.6%
4. 講習会等による地域づくりへの意識啓発等を進めること	7.7%
5. その他〔具体的に：	〕1.2%
6. 住民参加（参画）の必要はない	0.6%
7. わからない	17.2%
無回答	10.8%

問21 「利用者本位の福祉」を実現するために、府中市ではどのような施策に優先して取り組むべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをお答えください。（3つまで〇）

(N=1,097)

1. 福祉サービスに関する情報提供を充実すること	46.2%
2. 「団塊の世代」等退職後の人々が地域活動で力を生かせる機会を増やすこと	35.7%
3. ボランティアの育成や活動への支援を充実すること	18.6%
4. 的確な相談が受けられるようにすること	43.6%
5. 苦情に対して、適切な対応ができるようにすること	18.6%
6. サービスの内容を評価し、改善するしくみを充実すること	20.6%
7. 行政やサービス事業者の情報公開を進めること	16.8%
8. 市民が、福祉に関わる法律や制度について、学習できる機会や場を提供すること	15.3%
9. 利用者の権利を保護するしくみをつくること	7.9%
10. その他〔具体的に：	〕0.6%
11. わからない	8.6%
無回答	2.6%

問22 福祉のまちづくりを実現するために、優先的に取り組む必要があると思うことは何ですか。(3つまで○)

(N=1,097)

1. 高齢者、障害者、乳幼児を連れた人が歩きやすい道路の整備	45.3%
2. 公共施設や公共交通機関のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン	21.4%
3. わかりやすく利用しやすい案内標示の設置等、情報提供の充実	24.0%
4. 憩いの場である公園・河川の整備	17.8%
5. 高齢者や障害者が住みやすい住宅の整備	23.2%
6. 交通安全や防犯等、安全、安心に暮らすための体制整備	41.4%
7. 災害時に援護が必要な方の、災害への備えと対応	24.2%
8. 学校、地域、職場等における福祉教育の充実	18.0%
9. 福祉のまちづくりに対する理解の促進	9.2%
10. 障害者の社会参加を推進するしくみづくり	6.4%
11. 当事者の意見を反映できるしくみづくり	14.9%
12. その他〔具体的に：	〕1.3%
13. わからない	3.6%
無回答	2.6%

問23 最後に、府中市の福祉やまちづくりへのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——